


第2章 Macintosh の基本操作

パソコンを操作するには、パソコンに対して何らかの「命令」や「指示」をする必要があります。以下の章で説明するように、パソコンの電源を入れると、MacOS という基本ソフト（OS とも言う）が起動しますので、パソコンの操作は、基本的には Macintosh（以下 Mac と言う）環境のもとでのパソコン操作となります。

Mac に対して、「命令」や「指示」を与えるには、通常、キーボードからキーを叩いたり、マウスという道具を使います。Mac 環境では、特にマウスの操作が欠かせません。

この章では、実際にパソコンの電源を入れて Mac が起動して、（第3章参照）Mac の初期画面が現れてからパソコン操作上必要となる事項について説明をしています。

2.1 マウスの操作

Mac が起動すると、マウスが使用可能になります。マウスを操作卓上のマット（マウスパッドと呼ぶ）の上で動かすと、その動きに連動して画面上の矢印  が動きます。この矢印のことをマウスポインタといい、画面上の位置を示しています。画面上の特定の場所で、その場所に固有の項目を指定したり選択をして、Mac に何らかの命令をするときには、マウスを押します。

マウスは操作によって色々な命令を Mac に送ることができます。

マウス操作には、以下の通りクリック、ダブルクリック、ドラッグなどの操作があります。

●マウス操作


操 作 名	操 作 方 法
クリック	マウスの左側を1回押すこと。選択する時に使います。
ダブルクリック	マウスの左側を素早く2回カチカチッと押すこと。 実行・起動する時に使います。
ドラッグ	マウスの左側を押しながらマウスを移動させます。範囲指定・移動をする時などに使います。
ポイント	目標のものの上にマウスポインタを合わせること。
ショートカット メニュー	Control キーを押しながらクリックすること。 現在必要とされるメニューが表示されます。
右クリック	マウスの右側を1回押すこと。現在必要とされるメニューが表示され ます。ショートカットメニュー（Control キーを押しながら）と同じ。

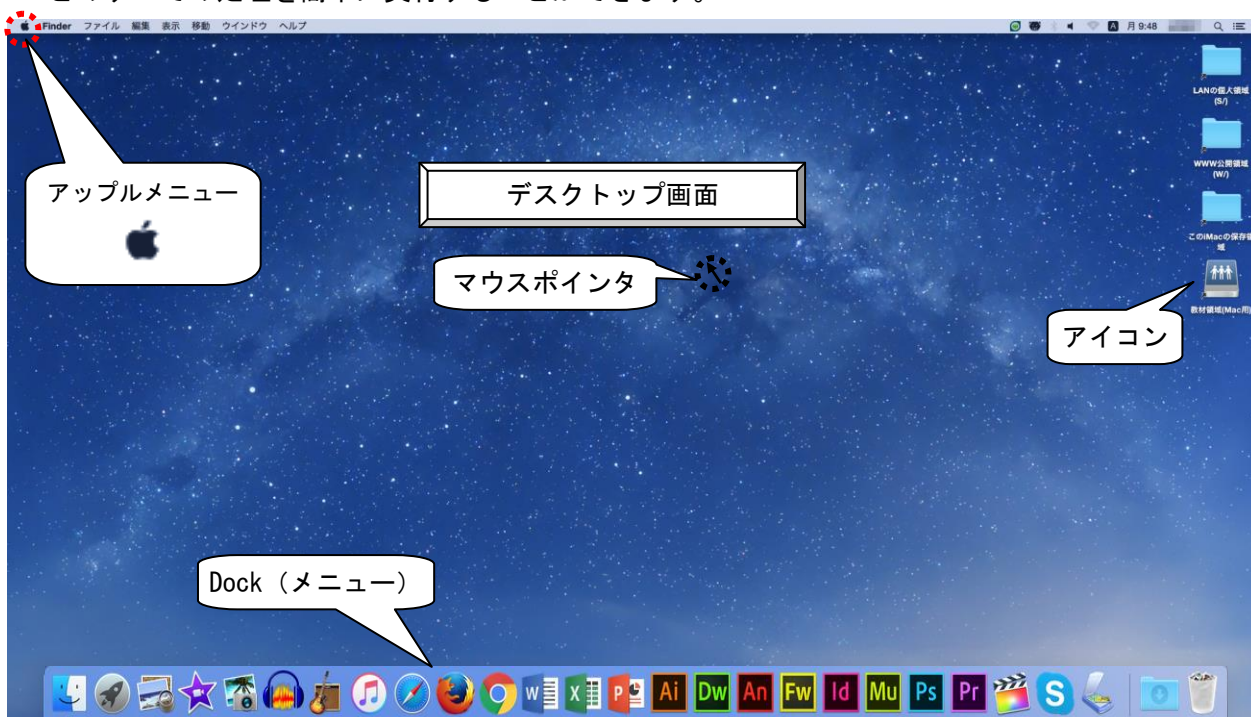
2.2 Mac の初期画面(デスクトップ画面)

起動した直後の初期画面のことを、デスクトップの画面といいます。

下図にデスクトップに表示されている各部の名称を示します。

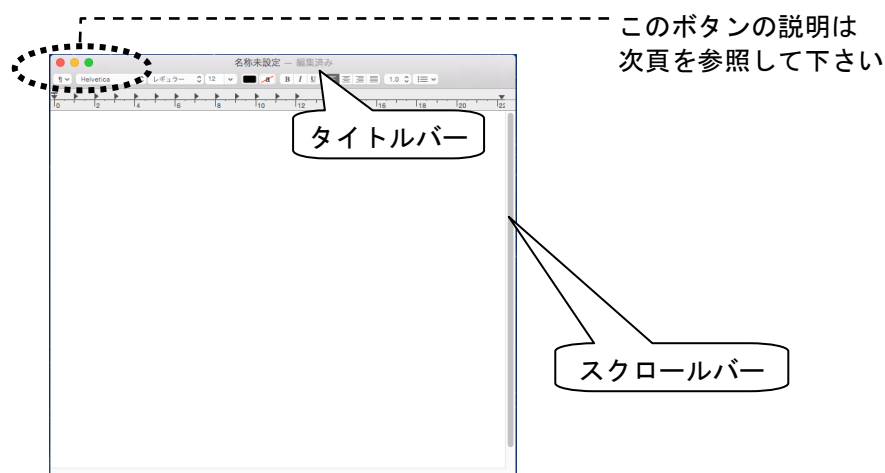
中央に見える矢印はすでに説明してあるマウスポインタです。

右側に並んでいる絵文字はアイコンと呼ばれます。最左上にある  の絵をクリックすると、アップルメニューと呼ばれるよく使うアプリケーションやツールを選択するメニューが表示されます。このアップルメニューを使用すると、Mac のもとで可能な各種プログラムの起動やファイル管理などのすべての処理を簡単に実行することができます。



2.3 ソフトウェアが起動した時の「初期画面」

Mac 上で作動するソフトウェアを起動すると、次のような「窓」が表われます。窓のことを「ウィンドウ」とも呼んでいます。ウィンドウの最上位の横棒はタイトルバーと呼ばれ、このウィンドウにつけられた表題を示しています。その他は、スクロールに関する部品です。スクロールとは、このウィンドウの大きさに収まり切らない表示内容を上下左右にずらす操作のことをいいます。スクロールバーを利用しますが、スクロールバーは、ドラッグするとその方向に移動できます。



2.4 Mac 画面上で開く「ウィンドウ」を操作するボタン

開いているウィンドウの開閉や大きさに関するボタンには次のようなものがあります。これらはウィンドウのタイトルバー上にあります。

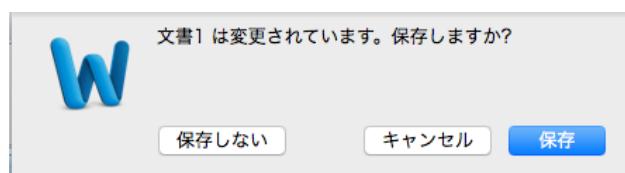


① 閉じるボタン

現在開いているウィンドウを閉じることができます。利用者が、ウィンドウに表示されている内容に何らかの変更を加えた後に、この変更内容をファイルに保存しないでこのボタンを押すと、ソフトウェアによっては、以下のようなダイアログボックスが表示されてきます。

この場合、「保存」を選択すると、ウィンドウに表示されている内容を保存することができます。「キャンセル」を選択すると、ウィンドウを編集する画面に戻ります。「保存しない」を選択すると、保存をせずにウィンドウを閉じることになります。

この閉じるボタンは、ウィンドウを閉じるボタンであり、起動しているソフトウェアを終了することはできません。



ウィンドウに表示されている内容を初めて保存するときには、次頁のようなファイル名をつけるダイアログボックスが表示されますので、ファイル名を入力して「保存」ボタンを押します。

以前にファイル名をつけていた場合は、上書き保存されます。



② しまうボタン

このボタンを押すと、ウィンドウを最小化し、Dock に格納できます。

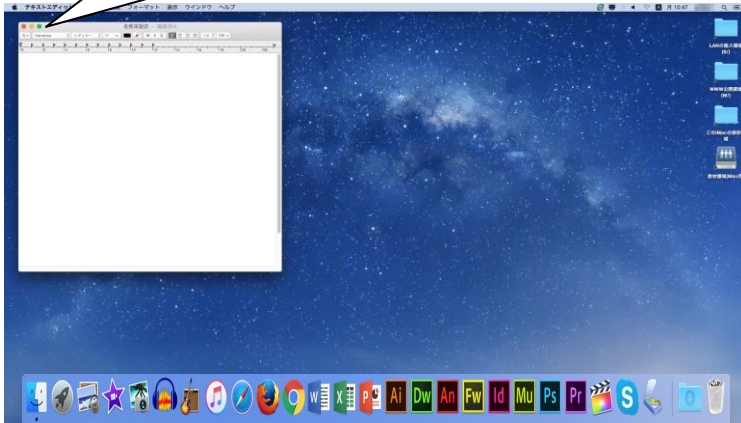
元に戻すには、Dock に格納されたアイコンをクリックします。



③ ズームボタン

デスクトップの画面より小さいウィンドウを画面全体に広げて表示させることができます。最大化された状態で、再度ズームボタンを押すと、元の大きさに戻ります。

ズームボタン（右の緑色）

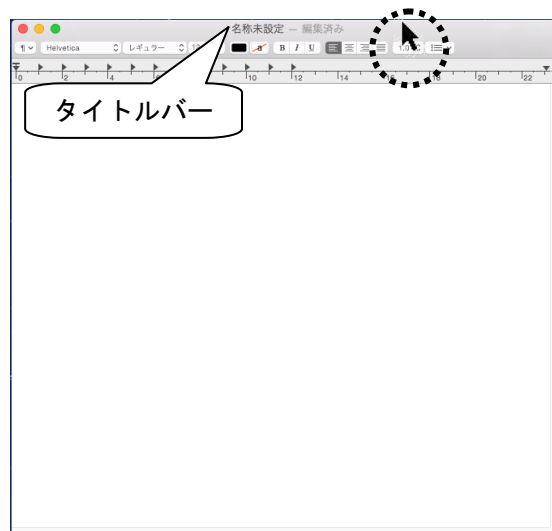


もう1度押すと、元の大きさに戻ります。

2.5 「ウィンドウ」の操作

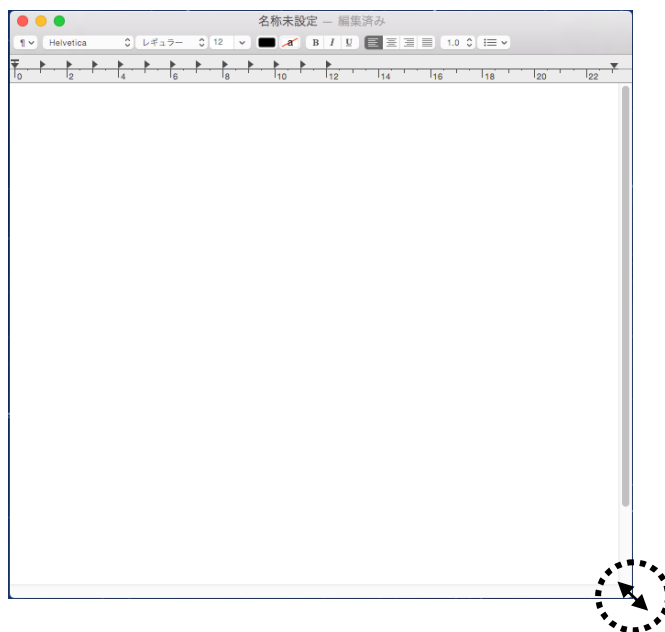
① ウィンドウの移動

起動しているウィンドウの大きさを変えないで移動するには、タイトルバーをドラッグします。



② ウィンドウの大きさの変更

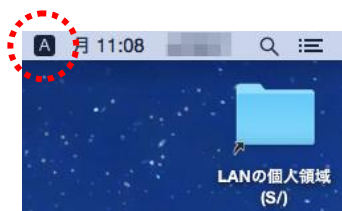
ウィンドウの右下にマウスポインタを合わせてドラッグすると、ウィンドウの幅を拡大・縮小できます。



2.6 日本語の入力

日本語を入力する方法は、以下の通りです。必要に応じて適宜変更し、利用して下さい。

デスクトップ上部のメニュー右部分に以下のように **A** アイコンが表示されていた場合は、英字入力の状態となっています。



この状態から日本語を入力するには、2通りの方法があります。

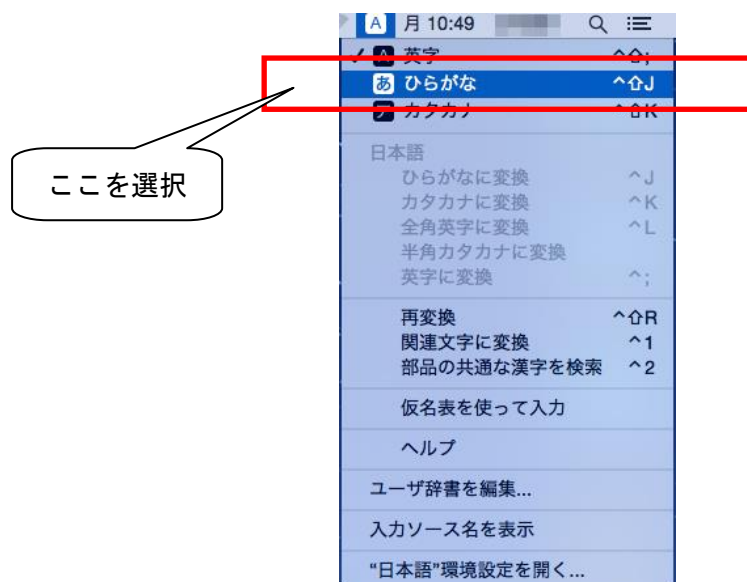
● キーボードを使う

かな キーを押すと、**あ ひらがな** のアイコンに変わり、日本語入力ができるようになります。

● マウスを使う

A アイコンをクリックすると、下図のようなメニューが表示されますので、**あ** ひらがなを選択します。

あ ひらがな にチェック が入っていない場合は、クリックして選択します。**あ** ひらがな が選択されると、日本語が入力できるようになります。



デスクトップ上部のメニュー右部分が **あ** ひらがな アイコンに変わったら、日本語入力できます。

2.7 ファイルの管理

2.7.1 ファイルとフォルダ

- ① ファイルとは、パソコンで処理可能なひとまとまりのデータを保存したもので、文書ファイル、音声ファイルや画像ファイルなどいろいろな種類があります。下図のような絵文字をファイルアイコンといい、アイコンの形はそのファイルがどのような内容か（どのようなソフトウェアを使用して作成されたか）を示しています。



- ② フォルダとは、一般には複数個のファイルを、その種類や作成目的などによって分類して格納しておく場所のことを言います。フォルダは次のようなアイコンによって示されます。



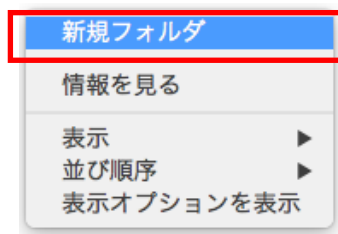
2.7.2 フォルダの作成

フォルダを新規に作成する方法を示します。

- ① フォルダを作成したい場所に移動します。
- ② フォルダの作成方法はいくつかありますので、以下のいずれかを選択してください。

マウスを使う

フォルダを作成したい場所で Control キーを押しながらクリックするか右クリックし、表示されたメニューから「新規フォルダ」を選択します。




- メニューバーを使う

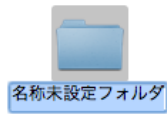
メニューバーからファイルをクリックし、その中の「新規フォルダ」をクリックします。



- キーボードを使う

 キー + Shift キー + n キーを押すとフォルダが作成されます。

- ③ 選択したドライブ又はフォルダに下図のような「名称未設定フォルダ」が作成されます。そのまま文字を入力すると、フォルダ名を設定できます。



- ④ 新しく作成されたフォルダの名前を「名称未設定フォルダ」で確定してしまった後にフォルダの名前を変更するには、フォルダの名前をクリックします。すると、上図のようにタイトルを入力できる状態になりますので、タイトルを入力します。